

シンポジウム「ブタ・ウシと人間の文化誌」プログラム

主催：国立歴史民俗博物館

共催：牛の博物館

会場：牛の博物館 (<http://www.isop.ne.jp/atru/mhaku.html>)

奥州市前沢ふれあいセンター

2008年3月24日 シンポジウム・第1日目

午前

篠原徹、総合司会

9:00～9:40

太田 至「東アフリカ牧畜社会における人ーウシ関係：家畜管理技術を中心に」

基調講演

9:40～10:10

小谷真吾「パプアニューギニア社会におけるブタの役割（1）—高地辺縁部の事例」

10:10～10:40

梅崎昌裕「パプアニューギニア社会におけるブタの役割（2）—高地社会の事例」

蛭原コメント、

10:50～11:30

蛭原一平「西表島のイノシシ猟とバヌアツのブタ」

安室知コメント

午後

1:30～2:10

朱有田 「A tale of miniature Lanyu pigs: A laboratory pig and a role in tracking Asian human migration」

黒澤弥悦コメント

2:20～3:00

野林厚 「中国農村社会におけるブタの多面価値(仮題)」

西谷大コメント、ブタ便所（10分）

3:10～4:00

黒澤弥悦「 (仮題)」(英語)

朱さんコメント

4:00～5:00

篠原司会・総括 ・総合討論

2008年3月25日 シンポジウム・第2日目

篠原 徹、総合司会

13:00～13:30

曾我 亨「家畜がつくる人の社会：ウシとラクダ」

13:30～14:00

Rajendra Prasad（ネパール） 「ネパール人にとってのブタとウシ」

（英語、同時通訳、梅崎）

14:00～14:20

西谷 大 「古代中国の動物観—ブタ、ウシ、ゾウ、サイ、ウマ、ライオン」

14:20～14:40

野林厚志 「中国におけるブタとウシの民俗（仮題）」

14:40～15:00

梅崎昌裕 「ブタとサツマイモとウシ：パプアニューギニア調査より」

15:00～16:00

質疑応答ディスカッション

篠原徹の司会で、外国人研究者も加わったディスカッションをおこなう。